

技術的確認事項 (変更箇所)

年 月 日

工事名			施工者名		
テリハリー販売店	担当者名		TEL		
			FAX		

1. 配合計画書関係 ※ 該当する番号を○で囲む

(1) 工事の種別

① 建築工事である ② 土木工事である(以下、(5)以降を記入)

(2) 「呼び強度」の選定(建築工事)

① 旧JASS 5 適用 (2003年版、補正值 T) ② 新JASS 5 適用 (2009年版、構造体強度補正值  $_{28}S_{91}$ )

(3) 「呼び強度」の算出(建築工事)

① 旧JASS 5 による (呼び強度の強度値  $FN' = \text{品質基準強度} F_q + T$ ) ② 新JASS 5 による (調合管理強度  $F_m = \text{品質基準強度} F_q + _{28}S_{91}$ )

(4) 呼び強度の適用期間の選定(建築工事)

① 旧JASS 5(気温による補正值T)による ② 新JASS 5(構造体強度補正值S)による

(5) 発注スランプの適正  
建築及び土木工事における適正なスランプを発注する

① はい ② いいえ  
建築工事:現場打設が困難な場合には最適なスランプに変更して発注  
土木工事:原則、発注スランプ=打込み箇所の最小スランプ+現場内運搬ロス+2.5cm(スランプ許容差)で発注

(6) 呼び強度27-18-20及び30-18-20について  
高性能AE減水剤使用で発注する

① はい ② いいえ ③ 該当配合はない

(7) 「AE減水剤」及び「高性能AE減水剤」の銘柄について  
各々の工場の「実績があるもの」とし、銘柄指定はしない

① はい ② いいえ

(8) 現場での混和材料等(繊維補強材等を含む)の投入について

① 現場での投入がある ② 現場での投入はない  
種類( ), メーカー( ), 銘柄( )

(9) 指定事項による配合の選択について

① JIS該当品とする ② JIS外品も可とする

(10) 特記事項の確認

① 特記事項がある ② 特記事項はない  
特記事項( )

2. 出荷関係

(1) スランプの上・下限要求はしない

① はい ② いいえ

(2) 受入れ時のコンクリート温度の規定はあるか

① はい ( °C以下) ② いいえ

(3) 現場における単位水量試験の実施について

① 現場で単位水量試験が実施される ※※ ② 現場での単位水量試験はない  
方法( ), 判定値( ), その他( )

(4) 持帰りコン(残コン・戻りコン)制度を十分に理解している

① はい ② いいえ

3. 下記の協組方針について、現場にご説明をお願いします。 ※ 説明した項目にレを入れる

(1) 出荷時の普通コンクリートの単位水量試験は実施しない

(2) 試し練りは全て有料とする

(3) 試し練りに使用する骨材の当日採取要求があった場合には、不安全行動となることから実施しない

(4) 普通コンクリートの運搬時間の制限は季節を通して、90分以内としている

(5) 製品検査のための安全な試験場所の確保をお願いします

(6) 配合計画書作成依頼書の提出は余裕を持ってお願いします

契約番号			年 月 日
幹事会社	技術	営業	東関東生コン協同組合の検印
会社名			
担当者名			
共納工場名			
連絡事項			

※※ 協組ホームページに「コンクリートの単位水量推定試験について」として、協組の同試験に対する考え方を掲載しておりますので、ご説明をお願いします。